



小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が、4・5年生を対象にみえスタディチェックが実施されました。今年度の分析結果と今後の取り組みについてお知らせします。学校と家庭が本調査の結果を共有することで、2学期以降の子どもたちの更なる学力の向上に向けて、共に取り組んでいけたらと考えています。

全国学力・学習状況調査の結果（6年生）

1 調査全体を通して

国語、算数の正答率は、どちらも全国平均・県平均をやや上回っていた。6年生として求められる学力はしっかりと身についていると考える。

2 各教科の状況（以下、○良かった点 △課題）

(1) 国語

○原因と結果など、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題の正答率は高かった。

○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかをみる問題の正答率は高かった。

○「いいい」を「意外」と表記する問題の正答率は高かった。

△図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率は低かった。

△「きかん」を「期間」と表記する問題の正答率は低かった。



(2) 算数

○台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題では、正答率が高かった。

○()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる問題では、正答率が高かった。

○百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題では、正答率が高かった
△高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、正答率が低かった。

△二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題では、正答率が低かった。

3 学習や生活の状況「児童質問紙」から

○「朝食を毎日食べている」と回答した割合が高い。

○「人の役に立つ人間になりたい」と回答した割合が高い。

○「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度利用しましたか」という問いに、「週3回以上～ほぼ毎日」と回答した割合が高い。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。

○「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。



- △「毎日、同じくらいの時刻に起床就寝していますか」という問いに、肯定的に回答した割合が低い。
- △「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が低い。
- △「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いに、肯定的に回答した割合が低い。
- △ 平日や休日ともに、家庭で勉強している1日あたりの時間が短い。
- △「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が低い。
- △「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という問いに、肯定的に答えた割合が低い。
- △「英語の授業は好きですか」という問いに、肯定的に答えた割合が低い。

みえスタディチェックの結果（4・5年生）

1 調査全体を通して

4年生では、国語が市平均をやや下回り、算数は市平均をやや上回った。5年生では、国語、は市平均と同程度、算数は市平均を大きく上回り、理科は市平均をやや下回った。

2 各学年の状況

【4年生】

- 段落相互の關係に着目しながら、文章の構造を把握することができている。
- △漢字の定着が弱い。
- 分数や時間、棒グラフの理解について強みがある。
- △2位数の乗法の計算や、グラフから読み取り間違いを説明する問題については、弱みが見られた。

【5年生】

- 登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えることができている。
- △具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことに弱みが見られた。
- 数と計算、図形、変化/関係、データ活用の4領域すべてにおいて広く理解できている。
- △小数の除法の意味理解においては、わずかに弱みが見られた。
- 実験器具の適切な使用方法を身に付けている。
- △回路として誤りのあるものを判断し、その誤りを正したときの回路に流れる電流の大きさについて理解しているかどうかをみる問題においては、弱みが見られた。

今後の取り組み

- ・グラフや表からどんなことが読み取ることができるのかを、文章で書かせる。
- ・資料から言葉や文を取り上げ、○文字以上○文字以内という制限内で書かせる。
- ・提示された式で求めることができるわけを、言葉と数を使って書かせる。
- ・電気など目に見えない事象についての理解を深める。
- ・地域学習を大切にするとともに、関わっていただいた方に自分が学んだことを伝える。
- ・教員は、「自力解決で学びに向き合い、対話により学び合う展開」を軸に授業を組み立てる。
- ・学活では、学級を良くするという目的のもと児童が主体的に運営することで達成感を持たせる。
- ・授業で学んだことについて、家庭で発展的に自主学習するような働きかけを行う。
- ・自主的に動けた場面、前と比べて成長が見られた場面を積極的に捉えて誉める。



以上のことに重点を置いて授業改善に取り組んでいこうと、職員間で確認しました。また、ご家庭におかれましては、児童が早寝・早起きをして一日のスタートが気持ちよく切れるように、就寝時刻やスマホ等の使用時間について把握していただくようお願いします。